

# 韓国・朝鮮語授業における文化教育

## —入門レベルの韓国・朝鮮語授業における

## 文化教育の実践とその評価—

### Cultural Education in Korean Class-Practice and Evaluation of Cultural Education in Introductory Korean Class-

木下 奈津紀

Kinoshita Natsuki

#### Abstract

In the linguistic education, it is essential to understand backgrounds such as culture or the society of the language. In addition, it does not learn a language monotonically, and it leads to improvement of the will of the language learning that culture or the society learn. This paper reports on the outline and evaluation of cultural education practiced at Aichi Shukutoku University "KBS2 (Introduction to Korean B)".

#### はじめに

本稿では、愛知淑徳大学交流文化学部交流文化学科専門科目「KBS2 (韓国・朝鮮語入門 B)」(以下、「韓国・朝鮮語入門 B」)における、文化教育を積極的に導入した韓国語教育の取り組みの概要とその評価について取り上げる。

言語学習において、その言語の背景となる文化や社会を理解することは必要不可欠である。金泰虎 (2016) では、韓国語学習における言語学習と文化教育との関係について、次の三つに区分している。一つ目は「言語教育を担う教師が授業の中で学習者のやる気を導きだすため、動機付けの一環として断片的に文化を紹介する。つまり、言語学習だけでは学習者の反応が良くなかつまらないので、学習者のやる気と関心を引き出す狙いでおつまみのように言語学習の中で文化を紹介すること」である。そして、二つ目は「言語学習の延長上で言語とは別途の授業科目として文化科目を設け、文化教育を実施すること」である。そして、これは言語科目と文化科目がそれぞれ独立した科目として成り立つカリキュラムであるとしている。最後に三つ目は「文化の紹介を通して言語学習を促したり、文化に関する関心をもってもらうこと」である。

本稿で取り上げる「韓国・朝鮮語入門 B」において、文化教育を積極的に導入した韓国語教育を実践した目的は、金泰虎 (2016) における三つ目の区分である「文化の紹介を通して言語

学習を促したり、文化に関する関心をもってもらうこと」に当てはめることが出来る。筆者は、2018年度より同科目を担当しているが、授業内アンケートの結果、履修者のほとんどがK-POPや韓国ドラマを契機として韓国・朝鮮語の勉強を始めていることが分かった。また、同時にK-POPや韓国ドラマ以外の分野にはあまり関心がないことも分かった。これは、同科目の履修者に限ったことではなく、内閣府「外交に関する世論調査」においても「若者のK-POPや韓国ドラマへの関心が韓国全体への関心には繋がっていない」との調査結果が報告されている。K-POPや韓国ドラマなどへの関心は、韓国・朝鮮語の勉強を始める動機としては十分であるが、外国語を学ぶ際には、その背景にある文化や歴史なども併せて学ぶ必要があり、韓国に関する情報を理解する必要がある。「韓国・朝鮮語入門B」は入門クラスであり、履修者のほとんどが韓国への留学経験がなく、韓国の文化や社会に関連した授業を履修していない学生もいるため、授業内で積極的に文化教育を導入する必要があると考えた。また、2018年度、2019年度前期に開講された同科目の履修者の中に「K-POPへの関心がなくなったら、韓国語の学習意欲がなくなった」という学生が数名いたこともあり、文化教育を強化することで韓国に対する関心を広げ、継続的な韓国語学習及び学習意欲の向上に繋がりたいと考え、2019年度後期に開講された同科目において、文化教育を積極的に導入した韓国語教育を実践した。そして、学期末に履修者に対するアンケート調査を実施することにより、その効果について考察することとした。

## 1. 授業の概要

「韓国・朝鮮語入門B」は、本学交流文化学部交流文化学科専門科目であり、履修対象は交流文化学部交流文化学科に所属する1年生～4年生である。2019年度後期、木曜日1限に開講された同科目の履修者は、1年生14名、4年生2名であったり。同科目の授業構成は以下の表-1の「授業内容」の通りであり、使用教科書は、金菊熙・崔在佑・林河運『だんだん韓国語』（朝日出版、2011年）であった。

表-1 授業内容

授業回	授業内容	文化教育の内容
第1回	韓国語について、母音I	教員の自己紹介（韓国滞在経験の紹介）
第2回	今日は。 母音I・母音II	韓国の地理
第3回	ありがとうございます。 子音（平音）・有声音化	韓国の宗教
第4回	お会いできてうれしいです。 子音（激音・濃音）	単語テスト
第5回	よろしくおねがいします。 バッチム・発音（連音化／濃音化／激音化／鼻音化・・・）	韓国の歴代の大統領

第6回	わたしは鈴木理沙です。 助詞（～が、～は）・N + ハムニダ形（～です／～ですか／～ではありません）	単語テスト
第7回	どこの国の人ですか。 指示代名詞・～の・N + ヘヨ形（～です／～ですか／～ではありません）	韓国の童話
第8回	基本文型総合（1） 中間テスト	中間テスト
第9回	あの方は誰ですか。 指示語。 関係、所有、所属を表す（1）	中間テストの返却と解説
第10回	韓国料理が好きです。 願望形・～と	若者が使う韓国語の略語
第11回	電話番号は何番ですか。 漢字語の数字・電話番号の読み方・進行形	単語テスト
第12回	これはいくらですか。 否定形・短文の連結	韓国の財閥（企業集団）
第13回	今度の日曜日は何をしますか。 固有語の数字・日時の読み方・複数形	韓国のお正月
第14回	バースデーパーティをしました。 過去形、～になる	韓国のゲーム
第15回	基本文型総合（2） 単位認定試験対策	期末テスト対策

同教科書は、全12課で構成されており、第1課、第2課、第3課、第4課、第6課、第8課に「コラム」として、文化紹介が掲載されている。

表 - 2 コラムの内容

	内容
第1課	ハングルって何？
第2課	ハングルはいつ、だれが作ったの？
第3課	ハングルは世界記録遺産！
第4課	意外な挨拶表現
第6課	韓国の姓と名
第8課	韓国の食事マナー

コラムの内容は、それぞれの課での学習項目に直結した内容となっており、コラムの他にも、第4課では「韓国ってどんな国？」、第8課では「韓国料理」、第12課では「誕生日の歌」が紹介されている。教科書に掲載されている事項については、授業内で学習項目の該当部分で説明することとし、教科書とは別に、表 - 1 の「文化教育の内容」を設定し、授業の冒頭の10分程度を使用して、独自に文化教育を実践することとした。単語テスト、試験対策、試験返却の回

は、授業の進度に影響が出るため授業の冒頭を使用した文化教育は行わないこととしたため、全15回の講義のうち9回分の講義において実施することとなった。文化紹介のテーマは、法務部出入国・外国人政策本部『韓国社会の理解（基本）』（韓国移民財団、2016年）などを参考に選出し、文化に限らず韓国に関する基本的な情報を学べるようにした。

まず、第1回講義では、自己紹介を兼ねて筆者の韓国滞在歴について紹介した。筆者は、同大学の提携校である梨花女子大学校に交換留学をした経験があるため、留学を目指す履修者の参考にもなるよう交換留学の制度について簡単に説明し、留学中の写真を用いて当時の生活を紹介した。

#### 授業で使用したスライドの一部



※写真はすべて筆者が撮影。プライバシー保護の一部ぼかしの加工あり。

また、筆者は光州広域市の大学での勤務経験があるため、韓国の大学生の学生生活について話したり、光州広域市の観光地（国立5・18民主墓地）や名物（エイの刺身・アヒル鍋・てんぷらのサンチュ包み）についても紹介したりした。また、光州広域市は、1980年に「光州事件」が起きた場所でもあるため、「光州事件」について簡単に説明し、2017年に公開された韓国映画『タクシー運転手海を越えて』を紹介した。

第2回講義からは、「韓国クイズ」と題して、クイズ形式で韓国の文化教育(紹介)を行うこととした。第2回講義では「韓国の地理」をテーマに、韓国の白紙地図を提示して「Q.日本は1都・1道・2府・43県の広域普通地方団体に分けられています。韓国はどのように分けられているでしょう」というクイズを出題した。数分間の解答時間を与えた後、韓国の地図で場所を確認しながら正解を確認した。その後、ソウル特別市、釜山広域市、仁川広域市、光州広域市、京畿道、江原道、全羅南道、全羅北道、済州島の観光地や名物を写真を用いて紹介した。

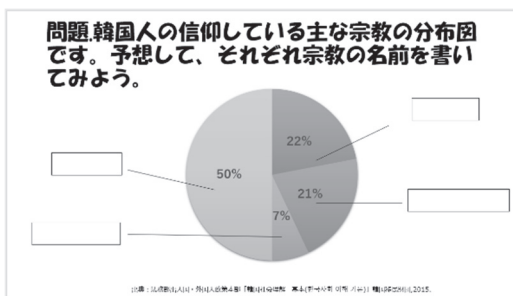
授業で使用したスライドの一部



※写真はすべて筆者が撮影したものである。

そして、第3回講義では、韓国の宗教を取り上げた。最初に下のスライドを提示し、履修者が口の中に予想した宗教名を記入する形とした。履修者は、「仏教」、「キリスト教」、「ヒンドゥー教」、「イスラム教」などさまざまな宗教名を記入していた。正解を確認した後、韓国のシャーマニズム、仏教と儒教、キリスト教について簡単に解説した。

授業で使用したスライドの一部



次に、第5回講義では、「韓国大統領クイズ」と題して、韓国の歴代の大統領に関する質問を四つ設定した。一つ目は「韓国初代大統領は誰でしょう」、二つ目は「「漢江の奇跡」と呼ばれる韓国の経済発展を成し遂げた韓国大統領は誰でしょう」、三つ目は「ノーベル平和賞を受賞した韓国大統領は誰でしょう」、四つ目は「現在の韓国大統領は誰でしょう」である。一分間の回答時間を設けた後、各大統領の写真を見せながら、その時代の出来事を簡単に紹介した。三つ目の質問については、「韓流」と深いかわりがある「文化大統領宣言」を、四つ目の質問では、2018年に「南北首脳会談」が開催されたこともあり、南北関係について簡単に解説した。

そして、第7回講義では、韓国の童謡を取り上げた。歌詞が簡単でスローテンポで聴き取りやすい「곰 세마리(クマ三匹)」を取り上げ、まず、歌詞の一部を穴埋めにしたプリントを配布した。その後、3回曲を流し（ ）に聴き取った韓国語を記入させた。答え合わせの後、

教員と履修者が一緒に歌う時間を設けた。この曲は、韓国ドラマや韓国のバラエティ番組などで歌われることもあるため、知っている履修者もいた。

次に、第 10 回講義では、若者文化に関心がある履修者が多くいたため、若者が使用する韓国語の略語を取り上げた。入門クラスであり難しい韓国語は理解できないため、メッセージや SNS で使用されてる子音字を利用した略語（「ㅇㅋ (OK)」、「ㄱㅅ (감사합니다/ありがとうございます)」、「ㄹㅇ(미안합니다/ごめんなさい)」など）を中心に取り上げた。

そして、第 12 回講義では、韓国社会の特徴の一つでもある韓国財閥（大企業集団）について取り上げた。最初に韓国財閥（大企業集団）について説明した後、韓国の大企業集団のランキングを提示し、上位 3 位を推測させた。その後、1 位のサムソン、2 位の現代自動車を取り上げ、創業者、企業の変遷を簡単に説明した。

授業で使用したスライドの一部

**質問 1：韓国の大企業集団のランキングを完成させよう。**

順位	企業集団名
1	
2	
3	
4	엘지 (Lg)
5	롯데 (ロッテ)
6	포스코 (ポスコ)
7	한화 (ハンファ)
8	지멘스 (S)
9	농림 (農協)
10	현대중공업 (現代重工業)

出典: 2019년 10월 10일 기준 (2019年10月10日現在) 企業集団別売上高ランキング (2019年10月10日現在) (2019.10.10)

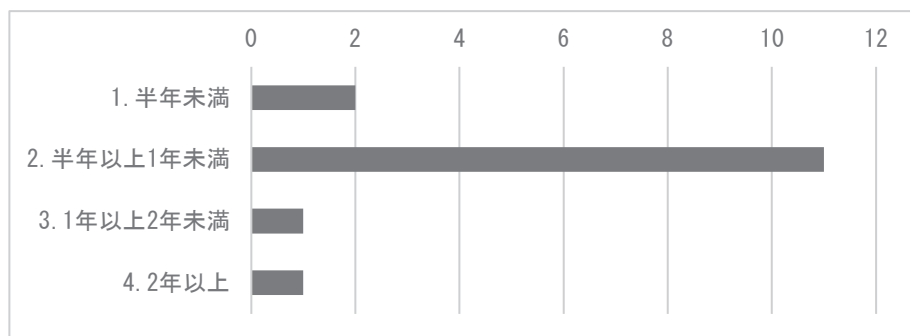
次に、第 13 回講義では、新年が近かったため、韓国の正月（ソルラル）について取り上げた。四つの質問を用意し、それに答える形式とした。一つ目の質問は「韓国の正月（ソルラル）はいつでしょう」であり、旧暦で正月を祝うことを確認した。二つ目の質問は、「正月（ソルラル）の挨拶の言葉は何でしょう」であり、「새해 복 많이 받으세요」という言葉が使われることを確認した。三つ目の質問は「韓国語でお年玉は何というでしょう」であり「새뱃돈」であることを確認した。そして、子どもたちがチマチョゴリを着て「새배」と呼ばれる挨拶をしている写真を見せながら、新年の挨拶の仕方を説明した。最後の質問は「正月（ソルラル）などの名節に行われる祭礼の名称は何でしょう」であり、「茶礼（チャレ）」について写真を見せながら説明した。

そして、第 14 回講義では、韓国のゲームを実施した。第 9 課で漢数詞を学んだので、漢数詞を利用した「뽀스킨라빈스(バンスキンドビンズ)31 ゲーム」を実施することとした。同ゲームは、1 人 3 つの数字をまで言うことができ、順番に数字を言っていき、31 を言った人が負けというゲームである。3 人で 1 つのグループを作り、漢数詞の言い方を確認した後でゲームを実施した。

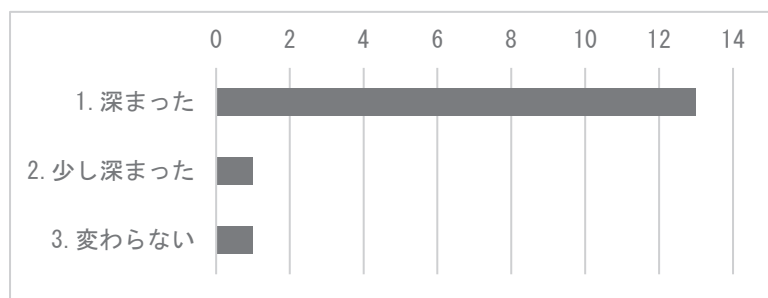
## 2. アンケート調査による履修者からの評価

上記の取り組みの効果を測るため、期末試験（2020年1月23日実施）の際に履修者に対してアンケート調査を実施した。履修者は16名であったが、最終的に単位認定試験を受験したのは15名であったため、アンケート調査は1年生13名、4年生2名に対して実施した<sup>1)</sup>。

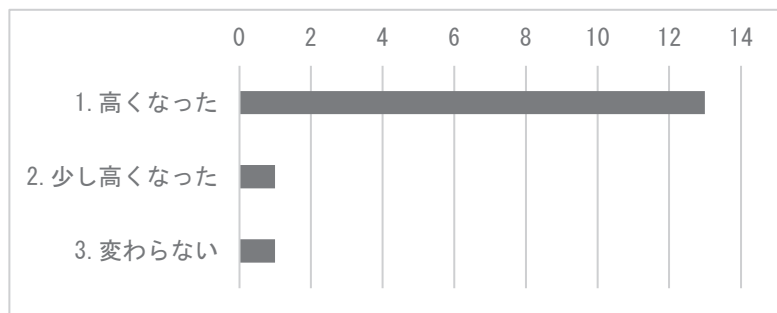
最初の質問は「1) 韓国語の学習歴はどれぐらいですか」である。入門クラスではあるが、後期開講の授業であったこともあり、86%の履修者が既修者であった。



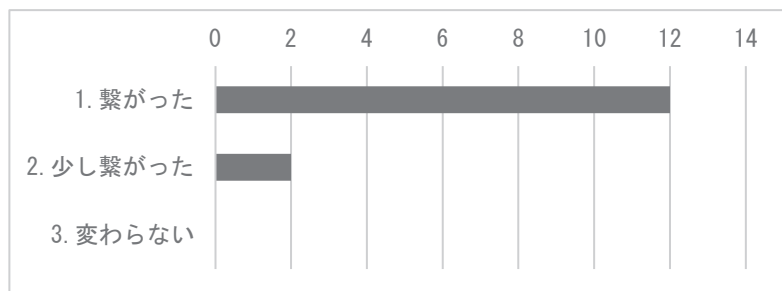
次は「2) KBS2（韓国・朝鮮語入門 B）を受講して、韓国語に対する理解が深まりましたか」である。93%の履修者が「1. 深まった」、「2. 少し深まった」と回答した。履修者のうち86%が既修者であったが、韓国語に対する理解が深まったとの結果が得られた。オリエンテーションの際に、自己紹介シートを記入させた際、同科目の履修の動機について「基礎を学び直したい」と回答していた履修者が多かった。同科目は、未修者だけではなく、既修者の基礎の学び直し場としても有効であることが分かった。なお、1)の質問で「4. 2年以上」と回答した履修者は「3. 変わらない」と回答した。



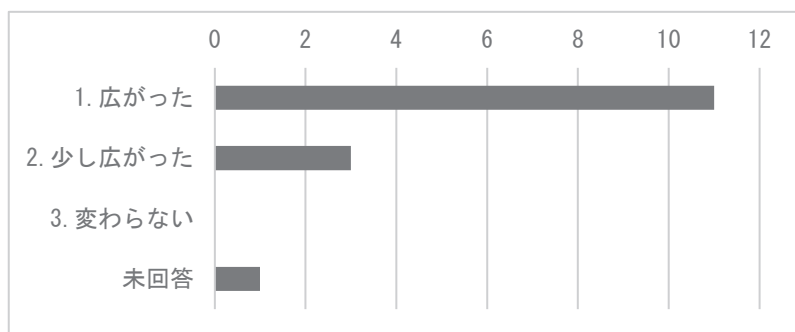
次は「3) KBS2（韓国・朝鮮語入門 B）を受講して、韓国に対する関心が高くなりましたか」である。93%の履修者が「1. 高くなった」、「2. 少し高くなった」と回答しており、文化教育を積極的に取り入れたことにより、韓国に対する関心が高まったという結果が得られた。



次に「4) 3) で「1.高くなった 2.少し高くなった」と答えた人に質問です。韓国に対する関心の高まりが韓国語の学習意欲の向上に繋がりましたか」との質問を行った。同質問には、すべての学生が「1.繋がった」、「2.少し繋がった」と答えており、韓国に対する関心の高まりが学習意欲を高めることにも繋がるという結果となった。。

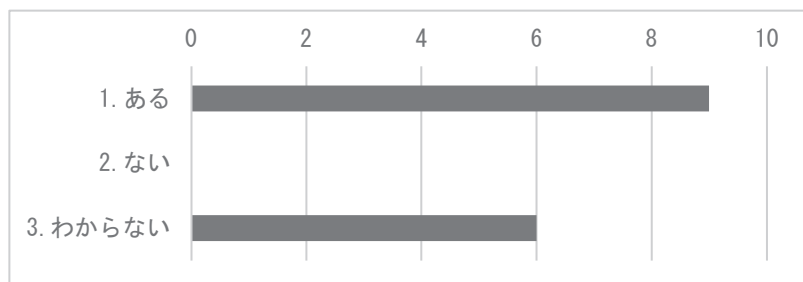


次は「5) KBS2 (韓国・朝鮮語入門B) を受講して、韓国に対する関心(分野)が広がりましたか」である。積極的に文化教育を取り入れた授業構成にしたことが、韓国に対する関心の広がりに繋がったどうかを確認するために同質問項目を設定した。そして、未回答者を除く100%の履修者が「1.広がった」、「2.少し広がった」と回答した。





次は、「6) KBS2（韓国・朝鮮語入門 B）を受講して、韓国・韓国語について新たに興味を持ったことはありますか」である。60%が「1.ある」と回答し、40%が「わからない」と回答した。5) で、未回答者を除く全員が韓国に対する関心が広がったと回答しているものの、新たに興味を持ったことがあると明確に回答した履修者は60%となった。



次は、「7) 6) で 1.ある と答えた方に質問です。韓国語・韓国について新たに興味を持ったことについて書いてください」である。履修者が実際に記憶している事柄を聞き出すために設問を選択肢にせず自由記述とした。結果は、以下の通りである。政治、歴史、地方、韓国財閥など、文化教育で取り上げた内容が記述されており、学んだことが関心へと繋がっていることが分かる。

履修者のコメントの内容
政治や歴史
歴史がおもしろかった
いつも韓国に行くときはソウルばかりで、ソウル以外にもきょうみがでた！「地方なんて…」と思っていたけど、少し行ってみたいとなった。
日本語とのニュアンスのちがいがいい。韓国の歴史。
韓国の財閥や韓国の大統領についての話を聞き興味を持った。
先生がいつも授業のはじめにする韓国クイズで、韓国の政治や歴史、地理、食文化などいろいろな分野のクイズを出されたとき、とても興味があって楽しかったし、気になることは授業のあと自分で調べたりと韓国語だけではなく、韓国について新たな発見がありました。
韓国のご飯
政治・韓国料理
韓国の財閥について

※履修者の記述内容をそのまま記載。

### 3. おわりに

本稿では、入門レベルの韓国語科目における、文化教育を積極的に導入した教育の概要を報告し、それに対する履修者からの評価について考察した。アンケート調査の結果からは、入門レベルの韓国語科目の履修者に、多様な韓国に関する情報を提供することで、韓国への関心が高まること、そして、韓国への関心の高まりが学習意欲の向上に繋がることが分かった。一方、「6) KBS2 (韓国・朝鮮語入門 B) を受講して、韓国・韓国語について新たに関心を持ったことはありますか」という質問に対して、40%の履修者が「わからない」と回答しており、テーマの選定については、再度検討する必要があると考える。

なお、同科目は COVID-19 の感染拡大により、2020 年度前期はオンデマンド方式での実施を余儀なくされたが、その際、同研究の結果を受けて文化教育を積極的に導入し、履修者の学習意欲の維持に繋げることが出来た<sup>2)</sup>。今後も、学生のニーズも調査しながら、状況に応じて効果的に韓国・朝鮮語の授業に文化教育を導入していきたいと考える。

### 付記

本研究の実践にあたり、授業アンケートの調査に協力してくださった「KBS2 (韓国・朝鮮語入門 B)」の履修者のみなさまに心より感謝を申し上げる。

### 注

- 1)同科目は二つのクラスが開講されていたが、本研究で取り上げたのは筆者が担当していた木曜日1限のクラスである。
- 2)履修者には、文書及び口頭でアンケート調査の目的を説明し、授業の質の向上のための研究に利用することへの同意を得た。
- 3)同取り組みでは、初回の授業の際に履修者からの韓国や韓国語に対する質問を受け付け、「質問コーナー」として各回で少しずつその質問に答えていく形式とした。日韓関係や、韓国人の性格についてなど、さまざまな質問が出たため、そこから話題を広げていくことが出来た。こちらの取り組みについても、今後まとめていきたいと考えている。

### 参考文献

金 菊熙 (2020) 「韓国内の韓国語教育としての文化教育の研究動向と日本の大学における韓国語教育の現状について：松山大学の初習言語「韓国語」の事例を中心に」『言語文化研究』40(1),松山大学,101-140.

金泰虎 (2016) 「言語学習における文化教育：外国語として韓国語を学ぶ日本人学習者を中心に」『言語と文化』20号,甲南大学,pp.63-80.